



# 森づくりサポーターニュース

令和3年(2021年)12月20日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312

メールアドレス biwako@moridukuri.info URL <http://www.moridukuri.info>

## 誕生から20年の森を考える! (3)

びわこ地球市民の森も20年間の公園整備事業で地域住民と協議して施設整備を行い、民間のサポートを得て植樹を実施し、県民の憩いの森としての環境を整えてきたところであります。

野洲川改修・琵琶湖総合開発事業により生み出された土地を、地域のためにどのように活用するか、様々の協議を経て、その地域の特異性や野洲川改修の後始末を考え、自然再生事業の都市公園事業として整備されてきました。勝手な解釈ですが計画当時は「森のなかった守山に森をつくる」とは、大胆な計画でした。

しかし、公園整備が順調に進むにつれて、森がなかった守山につくられたこの森は、守山市の都市化スピードの加速に伴って、地域住民の増加や近郊の商業施設の立地があり、森としての利用整備から、公園の利用者の増加による様々な利用者からの新たな利用や活用の意見が多く寄せられています。地球温暖化防止・自然再生という目的の維持管理から都市の様々な人々の憩いの場の維持管理に変わってきている感じがしています。

このたび、滋賀県が地元とワーキングおよびサウンディングを実施し、びわこ地球市民の森の今後20年を、民間事業者との協働による維持管理を公募され、民間の意見を取り入れた時代に合ったびわこ地球市民の森の施設整備とその運営がなされることに期待しています。

森づくりセンター付近の20年前(堤防の面影のある地点から)



野洲川南流の堤防があり、竹藪でカントリーエレベーターが見えません。

2021年10月撮影



堤防がなくなり、広場と森づくりセンターができて広い空間が確保されました。

# 第3回 「秋の森づくりサポーター活動」

令和3年10月31日(日)、第3回森づくりサポーター活動が秋本番の中で開催されました。

明け方に少し雨が降ったため、当初行う予定でありました間伐作業を取り止め、森をウォーキングしながら、生きものなどの自然観察を行いました。

当日は、森づくりサポーター115人、ガールスカウト15人、計130人の多くの皆さんが参加し、江見所長のあいさつのあと、里の森ゾーンの森づくりセンターを出発して、ふれあいゾーンを通り、旧森づくりセンターのあるつどいのゾーンまで森の中を観察しながら歩きました。

途中、各ポイントで森づくりセンター指導員から、森の様子や樹木などの特徴について説明を受け、終点のつどいのゾーンでは平成13年(2001年)に最初に植樹した地球広場周辺の大きく育った木々を見ながら、誕生20年を過ぎた森の生長に感慨深げでした。



開会式の様子



四季桜の観察



ふるさとゾーンの樹木観察



ハナノキの説明



ドングリ拾い



20年を経た地球広場の森

また、少し先のふるさとゾーンでは珍しい「窓木」\* を観察したり、隣接の今浜コスモス園で写真を撮るなど、雨上がりの爽やかな秋を楽しみました。

今回は、森の作業は出来ませんでした。森の中の散策や生きものの観察などを通して20年を経た森の様子が肌で感じられました。参加していただきました皆さん、本当にご苦労様でした。

次回のサポーター活動は、令和4年3月5日(土)に予定しています。早春の森の活動に多くの皆さんのご参加をお待ちしています。



窓木

\*窓木……幹が二つに分かれて上の方で再び一つになり窓のように見える木。山の神が宿る木として伐採を嫌われる。

# びわこ地球市民の森で自然体験キャンプ(秋)

びわこ地球市民の森では、10月から11月にかけて「森のようちえんファミリー」と「森のチャレンジキャンプ」を開催しました。

「森のようちえんファミリー」は、10月30日(土)に、親子8組、24名が参加し、間伐体験と家族だけの秘密基地づくりを行いました。段ボールと画用紙、ブルーシートを材料に木々をうまく活用していました。また、間伐材でブランコも作り、秘密基地でおやつを食べ、どんぐり工作やお昼寝など、家族が手作りの空間で一緒に過ごすことを大切にしたい一日でした。

小学生対象の「森のチャレンジキャンプ」は、11月13日(土)と14日(日)の2日間、41名の参加のもと、森の中での様々な体験をしました。初日は「出会いのゾーン」から「つどいのゾーン」までを縦断し、グループ対抗で自然のクイズを楽しみました。ゴールの旧森づくりセンター前で、飯盒を使い、炭火でご飯を炊き、鉄板焼きを夕食としました。夜は暗やみの中で、森の探検や天体望遠鏡による月のクレーターの観望をしました。

2日目は、低学年は「丸太切り体験」、高学年は「ツリーイング」です。「ツリーイング」は、木にかけた専用ロープと安全ベルト(ハーネス)をつなげて、ぶらさがったまま登っていきます。手を離しても落ちる心配がなく、特別な体力は要らず安全性が高いため、「楽しい〜!」「もっとやりたい!」と大満足でした。

森を活用した楽しいプログラムを、多くの子ども達が体験できた秋のキャンプでした。



家族の秘密基地(森のようちえん)



どんぐり工作(森のようちえん)



ウルトラネイチャークイズ(小学生キャンプ)



丸太切り(小学生キャンプ)



ツリーイング(小学生キャンプ)



## 「森」は、大きな樹がたくさん 生えているだけではありません。

いろいろな生き物が棲む「森」づくり。  
森の中に入って、足元を見てみると……。



切株や倒木・落葉にキノコやカビの仲間がいます。

丸太や落葉、森の手入れで山積みした枝葉が徐々にかさが減り、土に還っていくのは、これら、キノコやカビの仲間（菌類）のおかげです。

キノコやカビは、動物のエサになるし、また、生き物の遺骸をミネラルなどに分解し、植物に吸収されやすくします。

### 「森」（生態系）の大切な一員です



## お知らせ

### 第4回「森づくりサポーター活動」のご案内

早春の森が、みなさんのお越しをお待ちしています。

開催期日 令和4年3月5日（土）

開催場所 びわこ地球市民の森（出会いのゾーン）

活動内容 植栽地の育樹活動と自然教室など

※新型コロナウイルスの影響で、活動内容を変更したり中止になる場合がありますのでご了承ください。



## 編集後記

2年連続台風のため中止となっていた秋の森づくりサポーター活動が、今年度久しぶりに開催されました。

朝方までの雨で木々が濡れていたため、森の作業は取り止め、里の森ゾーンからつどいのゾーンまでのウォーキングと自然観察を行いました。

今年は森の誕生から20年、生長した森の様子やそこで生育、生息する生きものなどを目や肌で身近に感じ取ることができ、貴重な一日でした。

### 森のデータ

|                |          |
|----------------|----------|
| 森の面積           | 42.5ha   |
| 森の延長           | 3.2km    |
| 森の幅            | 100～200m |
| 植樹面積           | 80,808㎡  |
| 植樹期間           | H13～H25  |
| 植樹活動参加者数       | 44,994人  |
| 植樹本数           | 160,967本 |
| 森への利用者数（R2）    | 226,600人 |
| 森づくり活動参加者数（R2） | 2,744人   |
| うち育樹活動参加者数（R2） | 2,152人   |